



学校だより

3月
臨時号



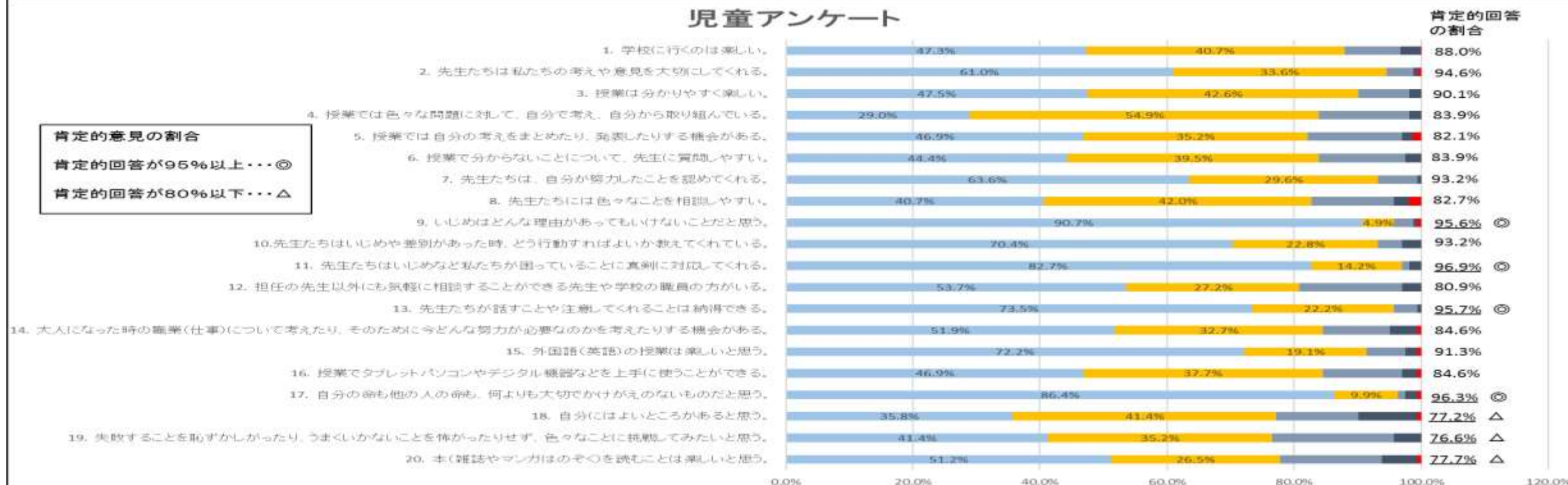
かどましりつわきたしょうがっこう
門真市立脇田小学校
こうちょう 校長 三村 泰久

れいわ ねん 令和4年(2022年) 3月11日発行
わきたしょうがっこう
脇田小学校のホームページも併せてご覧ください。



12月に実施した「学校教育自己診断アンケート」の結果と分析を掲載しております。皆様のご協力、本当にありがとうございました。この結果も踏まえながら、本校の教育活動が、より充実し、より子どもたちの成長につながるよう、今後も努力してまいります。

児童アンケート



【児童アンケートの結果から】

肯定的回答の割合がきわめて高い項目(95%超)は「9.いじめはどんな理由があってもいけない」約96%「11.先生たちはいじめなど私たちが困っていることに真剣に対応してくれる」約97%「13.先生たちが話すことや注意してくれることは納得できる」約96%「17.自分の命も他人の命もかけがえのないものだと思う」約96%でした。

「いじめを許さない」「命はかけがえのないもの」という気持ちが子どもたちの中に育っていることは大変うれしく思います。ご家庭でも日頃からお子さんに話をしてくれているおかげです。学校は今後も子どもたちの話にしっかりと耳を傾けながら、誠実に対応する教師集団であることを目指していきます。

肯定的回答が80%を下回った項目は「18.自分には良いところがある」約77%「19.失敗を恐れず、色々なことに挑戦したい」約77%「20.本を読むことは楽しいと思う」約78%でした。

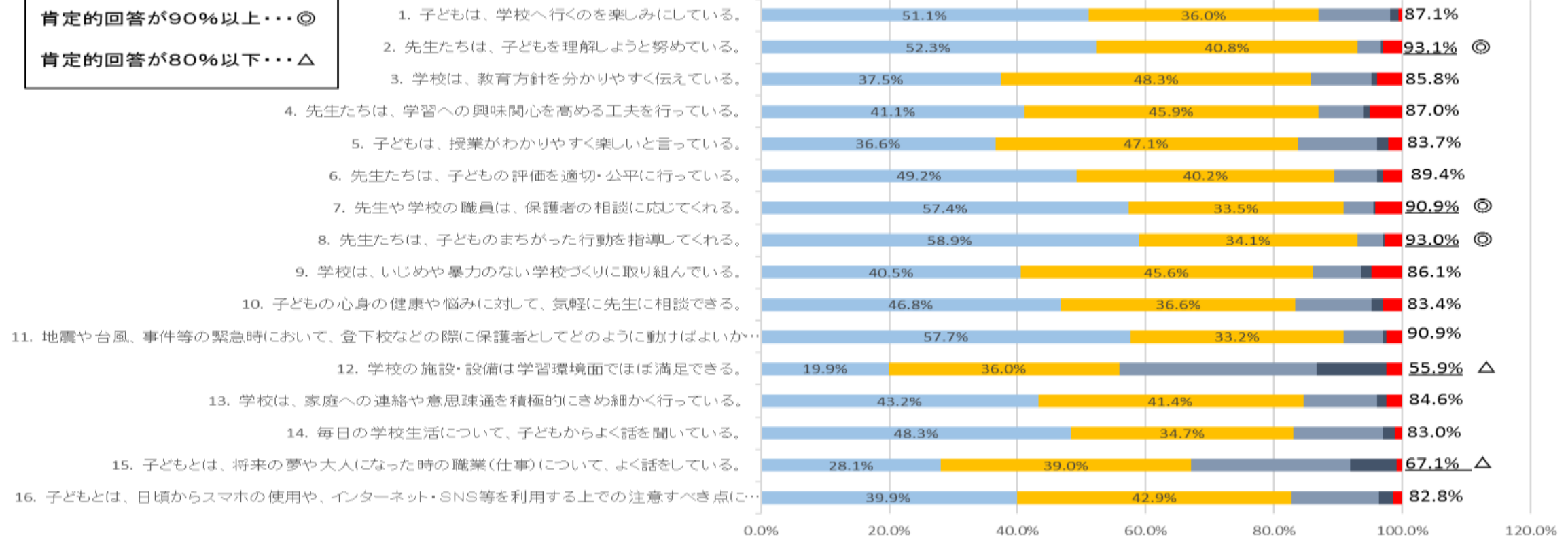
18と19は「自己肯定感」(自尊心、自尊感情)を表すものです。自己肯定感は学力向上との相関関係が非常に高いといわれています。保護者や教師、友達など周りの人から「認められる」「褒められる」経験を繰り返すことで心の奥底に積み重なって根付く感情です。子どもが自信をもって主体的に学んだり行動するための重要な要素です。甘やかすわけではなく、時には厳しく子どもにとって必要な指導はしっかりと行います。その前提として学校、家庭、地域・・・みんなで子どもたちを「認めて」「褒めて」育てていけたらと思います。

保護者アンケート

肯定的意見の割合

肯定的回答が90%以上・・・◎

肯定的回答が80%以下・・・△



【保護者アンケートの結果から】

肯定的回答の割合が高い項目（90%超）が「2.先生たちは子どもを理解しようと努めている」約93%「7.先生や学校の職員は、保護者の相談に応じてくれる」約91%「先生たちは、子どもの間違った行動を指導してくれる」約93%でした。学校としては嬉しい結果ですが、もちろん学校側のミスや見逃しは常にありますし、ゆえに子どもの状況や気持ちに気づかないことも多々あることは事実です。家庭でのお子さんの様子と学校の様子・・・情報を共有することが迅速かつ効果的な指導へとつながります。今後ともご協力をお願いいたします。

肯定的回答が80%を下回った項目は「12.学校の施設・設備は学習環境面で満足できる」約56%「15.子どもとは、将来の夢や大人になった時の職業について、よく話している」約67%でした。12の施設面の課題につきましては、昨年度も同様のご意見をいただきました。築50年の建物で傷みも激しく、教育委員会からたびたび修繕に来てもらっています。今年度は教室のエアコンをすべて入れ替えました。廊下の天井の修繕や、雨漏りの対応も都度おこなっています。保護者の皆様にもご心配をおかけしておりますが、できる限りの対応を市教委にもお願いしておりますので、ご理解の程お願いいたします。

15はキャリア教育に関わる項目です。「〇〇になりたい」と具体的な職業について考えることもよいのですが「〇〇な人になりたい」「〇〇なことをしてみたい」など抽象的なことでも構いません。子どもが自分の将来を主体的に意識することが大切です。そのためには実際に経験したり、経験者からの話を聞く機会が貴重な経験となります。そのような機会を増やせるよう学校としても取り組んでいきたいと思ひます。